

神社



四年
藤城 義文

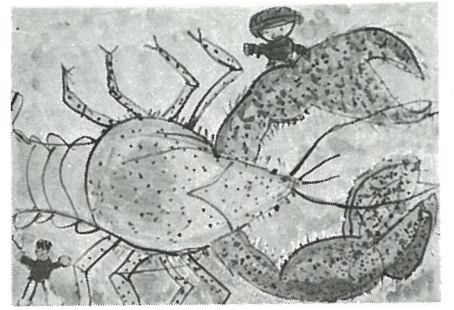


自転車

そうじ



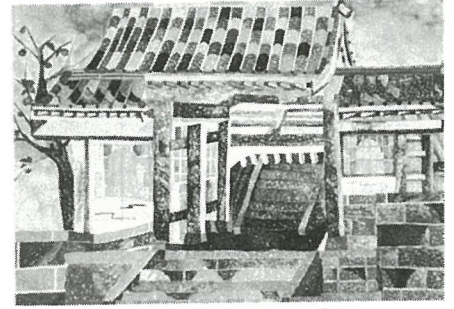
四年
小川 和信



ザリガニ



二年
いはしひでき



神社



六年
鈴木 晴美

山里の春

大木 雅枝



五年
大木 雅枝



五年

鈴木 めぐみ



五年
鈴木 めぐみ

シリーズ

34

我が家の家庭教育

篠原 竹内 敏子

我が家の家庭教育といっても「はい、これです。」と決まったものはありません。私の家は、四世代家族で、四年の子を頭に四人の子がいます。朝晩と私の奮戦時です。やっとの呼びかけで食卓に集まる子供たち。「誰のが多い」、「おかずはこれー？」などと口ぐちに言い、好物となると匂いでかぎつけ、人の物までつまんだり、ゆっくり腰掛けて食事さえ

ままになりません。せわしない時は、未だの子に、「ご飯よそって配ってくれ」と頼むとイスを持ってきて、こぼしながらも手伝ってくれます。又、けんかも仕方ないのですが、内容によっては、私の方も虫の居所が悪いと子供たちといっしょになってけんかをしたりしています。私も子供の頃はお転婆で、小さい時から中学までの子がいっしょになって、ピル玉、べえごま、しろとり、野球、めんち、木登り、数えきれない程の遊びをしました。夏になると、かぶと虫取りで、木にびっしりついて、下で幹をゆさぶるとバタバタと落ちて、蚊にさされるのも気付かず夢中でした。子供たちに得意気になって教えます。

又、宿題など普段見てあげる方ではないので、子供達は解からない時だけ聞きにきて、私も記憶の範囲で教え、「あれー？」っていう時は、自分もいっしょになって習い直します。ですから学習でも、他の面においても子供たちとのかかわりの中で勉強することはたくさんあります。生意気な事を言うようですが、望むことは成績も良ければそれにこした事はありません。心身共に健康で、人のいたみのわかるような子に、やがて人間に、又、親も口先だけでなく、欠けている点は子供といっしょに歩んで行けたらと思います。我が家のやじろべえは、ずうっと揺れ動いていることでしょう。

菊花展君の努力と愛情に
見事こたえて花競い咲く

岩沢 芳江

黄一色白樺林の秀の上に

伊藤 鏡子

浅間は白く煙立ち居り

椎名賀代子

それぞれの想ひを乗せてひた走る

バスは紅葉の山並を過ぐ

土屋 好

来年の米作如何に変わるとも

息子はひたすらに冬田耕す